

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは2号館			
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 21日		～	令和 7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 21日		～	令和 7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 1月 21日		～	令和 7年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問時の様子だけでなく、事業所での様子や支援内容を共有することで、対象児の理解を相互で深めるようにしている所。	・事業所での対応策を口頭や書面にて共有している。 ・終礼にて全職員に訪問時の様子を報告する、報告書を全職員に見てもらうといった工夫の中で、言語聴覚士、保育士、児童指導員といった多角的な視点が入れられるようにしている。	・就労にて忙しいご家族との情報共有にて通所の送り迎え時以外でも自宅へ訪問を行う事で、時間にゆとりのある情報共有が出来る様にしたい。
2	必要に応じて、報告書だけでなく事業所でとった検査結果や行っている支援に関しての資料を別途で渡している所。	・報告書に事業所内にいる言語聴覚士や保育士といった専門職からの意見も反映させている。 ・事業所全体の取り組みとして月に1, 2回支援に関する勉強会を実施している。	・訪問先やご家庭での困り感に、より即した情報が提供できるよう、訪問先やご家庭との情報共有をより密に行っていく。
3	訪問時の様子や訪問先から頂いた情報も事業所内での支援に反映させている所。	・終礼にて全職員に訪問時の様子を報告する、訪問報告書を職員全員が確認できるようにしているという工夫の中で、全職員が対象児に対して共通した認識を持てるようにしている。	・今後も事業所内での情報共有を継続して行い、訪問担当職員だけでなく全職員が共通認識を持って担当児の療育に取り組めるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先によっては、毎回の振り返りの時間の確保が十分にできていない。	・振り返りを行う時間や方法を訪問先施設と明確に決められていない。	・訪問日とは別日で申し送りの時間を調整する、電話やZOOMで対応するなど、訪問先の負担にならない形での振り返りの方法を調整、明確化する。
2	担当職員の体調不良などの不測の事態の時の対応が十分でない。	・訪問の対応が可能な職員が少ない。	・訪問対応が可能な職員を増やしていく。
3	保護者へ訪問先の様子で写真を交えて共有する事が難しい。	・訪問先にて不特定多数の子ども達があり、個人情報の観点から写真撮影を行っていない。	・訪問先の担当者と相談調整を行い、写真撮影の許可が出た際には当該児童以外は特定できない様に処理をしてご家族と共有できればと考えている。